

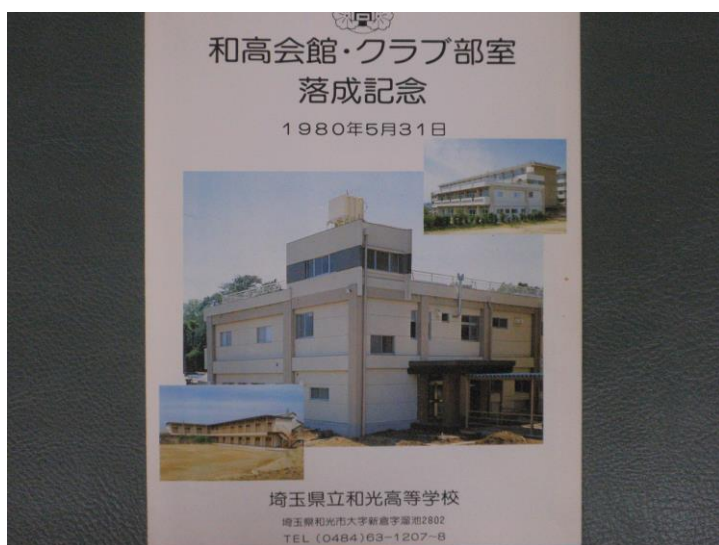
校長室だより～和光高校今昔 第15号 H26.8.15

埼玉県立和光高等学校 校長 村田 進

校内合宿の思い出

先月行われた進学フェアで、草加東高校 関根一紀先生とお会いし昔話に花を咲かせた。資料を確認したところ、和高会館設立の年（昭和55年）に赴任した私たちが、丁度34年前のその日に最初に校内合宿を行ったことがわかったからだ。教員用の管理室でクーラー全開で寝る関根先生には閉口したなど懐かしい思い出を語り合った。

和高会館は、翌年に予定されていた10周年事業の一環として部室棟とともに昭和55年5月31日に落成記念が行われている。現在と同じ場所に建てられた真新しい施設は、1階が食堂、2階が合宿所と今の2代目和高会館よりやや狭いが、それまでの教室での合



宿を考えると夢のような施設だと2・3年生は話していた。前述のクーラーは管理室にしかなく生徒の部屋（25畳が3つと15畳と8畳の計5部屋）は扇風機のみ、それでも広い浴室や洗濯機、屋上の物干し場など、食事も含め運動部の合宿には理想的な環境がそこにあった。当時の後援会・PTAの会長をされていた並木利志さんと林英夫さんから当時の御苦労話をうかがう機会があり、改めてお二

人を筆頭とする方々の御腐心に感謝申し上げる次第である。

すでに5月から食堂の営業が行われており、合宿時の食事もお世話になる。校外に行くか自炊に頼っていた合宿が大きく変わった。畳も浴槽もすべてが真新しい合宿所生活だった。冒頭に戻るが、新築の建物に最初に寝泊まりしたのが男子ソフトテニス部と女子バレー部だったが、この年の夏休みはひっきりなしに運動部の合宿が続き、まだ引退していないラグビー部とサッカー部以外の3年生は、後輩の差し入れを持ってくるたびに口をそろえて「あと一年早くできてくれたら」と残念がっていた。実家暮らしであった私は夏休みのほとんどをこの場所で過ごしていた気がする。

数多く行った合宿で最も記憶に残っているのが、3年目となる58年春の合宿だ。例によって私はバレー部で合宿をしていたわけだが、たまたまラグビー部と同じ日程であった。9期生・並木孝喜らの代であったが、和光グラウンドで強豪相手に連戦に次ぐ連戦を行い全員が疲労困憊、試合



落成記念パンフレットより（1980、5、31）

に出ずっぱりのレギュラーは全員が極限状態であった。ハイパントを追って入部間もない桑山秀家が味方と衝突する瞬間も目撃した。幸い脳震盪を起こしたにとどまり、次の試合にはもう出場していた気がする。こちらにも疲れているはずの女子バレー部員が練習の合間に、合宿所前の通路から応援していて、自分たちも負けずに頑張ろうと奮い立たされたくらいもの凄いな練習であった。普段は接点のない運動部同士が合宿を共に過ごすことで切磋琢磨していた古き良き時代であった。

その後平成9年に和高会館は防災拠点として全面的に建て直しとなった。以前よりやや広くなりエアコンも全室完備となった合宿所だが往年の賑わいは残念ながら無くなってしまった。競い合うように日程を調整していたあの頃が本当に懐かしい。

